

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ地方)	在リヨン領事館事務所 リヨン日本人センター治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 他	2008年12月31日	2008年12月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び領事館ルート	
調査項目:	① 邦人対象の治安情報 ② テロなどの一般治安情報 ③ 今月の出来事 ④ その他の情報		

報告要旨

1、邦人対象の治安情報

- A、一般的傾向
- B、地区別 犯罪集計結果:補足文書 1
- C、多発の手口と場所の特定、防止策 :補足文書 2

A、一般的傾向

今月は 17 歳の姉と散歩をしていた 14 歳の少女が誘拐未遂事件にあうという例が報告されている。小さい子供たちはもちろんのこと、比較的大きくなった子供たちにも誘拐の危険性について家庭でよく話し合っておく必要がある。路上での暴力を伴った窃盗事件も相変わらず続発している。また 31 日から元旦にかけて車への放火事件が続発したが、これについては四半期報告で詳しく報告する。

[補足文書 1]

B、地区別 犯罪集計結果

[補足文書 1]

2008年12月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨン東	リヨン西	リヨン南	リヨン北	アン県	イゼール県	ロワール県	合計
すり																	0
空き巣	1	1	1					1		4		1			3		12
置き引き																	0
引ったくり																	0
万引き		1															1
強盗	1	1						1		1		1		1			6
窃盗(車・自転車)										1							1
カージャック						1											1
車内盗難		1						1									2
猥褻行為・強姦																	0
いたずら電話・迷惑																	0
脅し・暴力行為	3	7	6	1	1	2	3	3	4	9			6				45
詐欺(カードなど)	1	1		1			2	3	1	2							11
拉致・誘拐																	0
破損・放火		2								2	1		1	1			7
ストーカー																	0
麻薬取引・所持																	0
飲酒/無免許運転									1	3							4
その他															3		3
合計	8	12	7	2	1	5	3	9	6	22	1	2	7	5	3	0	93

備考欄: リヨン東→ Meyzieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons
 リヨン西→ Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon
 リヨン南→ Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison
 リヨン北→ Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas

* 数字はプログレ紙に掲載された軽犯罪の記事の数で、統計的な意味はない。

[補足文書 2]

C,多発の手口と場所の特定・防止策(新聞による報道記事から)

① 少女誘拐未遂事件

- 12月はじめ、シャッシュー市で午後4時ごろ14歳と17歳の姉妹が犬を散歩させていたところ、妹が車で近づいてきた男に話しかけられ車に乗るように要求。少女が断ってもしつこく付きまとってきた。すぐ近くを歩いていた姉が犬を放すとけしかけてようやく不審な男はあきらめてその場を去った。姉妹によると、不審な男は40歳前後で小型車を運転しており、助手席にはもう一人連れの男が乗っていたという。(プログレ紙12月2日付)

上記のように、比較的大きな子供でも誘拐の被害に遭う危険がある。怪しい人物に話しかけられて、断ってもしつこく誘われるようなら大きな声を出して助けを求めたり、近くの商店に逃げ込むなどして身を守る手段を普段から家庭で話し合っておくと良い。

② 路上における暴力を伴った窃盗事件

今月も路上における暴力を伴った窃盗事件が報告されている。

- 12月1日午後10時30分ごろ、リヨン8区を歩いていた28歳の男性が突然覆面をして、催涙ガスボンベと拳銃をもった二人組の男らに脅され、携帯電話と財布を奪われた。犯人らは逃走する際に男性に向かって催涙ガスを噴射した。(プログレ紙12月2日付)
- 12月10日午前9時30分ごろ、20歳の女性がリヨン2区のカルノ広場で3人組の男らに突き飛ばされ、持っていたハンドバックを奪われた。(プログレ紙12月11日付)
- 12月11日午前9時30分ごろ、36歳の男性がリヨン2区のシャルルマーニュ通りを歩いていたところ、刃物を持った男に脅され、身分証明書やクレジットカードの入った財布を奪われた。男性は指に軽い切り傷を負った。(プログレ紙12月13日付)

同様の事件が他にも数件報告されている。外出の際にはできるだけ人通りの多い道を選び、周囲の状況に充分注意すること。

③ 相次ぐ強盗事件

年末は、普段よりも数多い強盗事件が報告されている。

- 12月2日午後1時40分ごろ、リヨン1区の銀行ソシエテジェネラルに覆面をして拳銃を持った二人組の男らが侵入。金庫にあった8,000ユーロを奪って逃走した。従業員の一人が犯人らに銃の台尻で殴られて負傷した。(プログレ紙12月3日付)
- 12月5日午後3時ごろ、リヨン南部のコミュナー市の郵便局に覆面をして武装した男が出現。窓口の職員を殴った後、金庫にあった現金などを奪って逃走した。郵便局は開いたばかりで客はおらず、怪我をした窓口の職員は病院に運ばれた。(プログレ紙12月6日付)
- 12月7日午後8時ごろ、ヴォー・エン・ヴラン市のガソリンスタンドに拳銃を持った男二人が現れた。男らはレジの現金を奪って逃走した。
- 12月8日午前8時ごろ、アン県アンペリユー・エン・ビュジエ市にあるハードディスクショップEdにフードで顔を隠し斧を持った男が出現。開店準備をしていた従業員を斧で脅し、レジにあった250ユーロを奪って逃走した。憲兵隊が駆けつけ、犯人の乗った乗用車を発見。逮捕劇が繰り広げられたが、犯人はロータリーを逆走するなどして追跡を逃れた。(プログレ紙12月9日付)
- 12月17日午後6時30分ごろ、リヨン8区のタバコ屋に覆面をした男が出現。拳銃で店主を脅してレジの現金数百ユーロを奪って逃走した。(プログレ紙12月19日付)
- 12月29日早朝5時半ごろ、リヨン2区の高級紳士服ブティックに覆面をした4人の男らが出現。車を店のショーウィンドーに突っ込ませ、鉄製のシャッターとショーウィンドーを破壊し、店内にあった高級紳士服を奪って逃走した。被害額ははまだ不明である。目撃者の証言によると、犯人らは用意していた2台の車で逃走したという。この種の強盗事件は、商業地域への車の立ち入りを制限する体制がしかれて以来ほとんど見られなくなっていた。(プログレ紙12月30日付)

④ 偽の武器での強盗事件

12月21日深夜、リヨン2区のペラーシュ駅周辺を車で走行していたドライバーが数人猟銃や拳銃で脅され貴重品を奪われると言う事件が起きた。その後の調べにより23歳の男が逮捕されたが、男の持っていた猟銃や拳銃は偽物であることが判明した。(プログレ紙12月25日付)

⑤ 偽の肩書きを名乗った詐欺事件

相変わらずの被害報告が続いている。

- 12月2日午後、リヨン8区に住む86歳の一人暮らしの女性宅にEDF職員を名乗る男が訪問。電気配線を確認するという口実でアパート内に入りこんだ。男がいなくなっただけで女性には現金300ユーロが亡くなっているのに気がついた。(プログレ紙12月5日付)

2.テロなどに関する一般治安情報

12月16日にパリの百貨店であった爆弾事件でもわかるように、ロンドンのテロ事件のあった2005年7月以来、フランスの対テロ警戒レベルは最高レベルとなっており、ローヌ=アルプ地方でも年末にかけて警戒態勢は大幅に強化された。混雑する鉄道駅、商業センター、市中心部などでは武装した警察や憲兵隊による大掛かりなパトロールが実施された。

- 12月3日午後には、リヨン地下鉄シャルペンヌ駅構内で不審な荷物が発見された。結局誰かが置き忘れた荷物で危険ではないと判明したが、警察による介入の間約30分間ほどA線とB線の交通は中断された。(プログレ紙12月4日付)

荷物を置き忘れるなどというちょっとした不注意により大混乱をもたらす恐れがあるので、自分の荷物からは離れない、置き忘れないという注意をしたい。

またフランス内務省の指揮のもと、12月22日にパリ、マルセイユ、リヨンを攻撃する同時テロを想定した大掛かりな訓練が行われた。インドのテロやパリのテロ未遂事件を教訓に非常事態時に必要な介入組織のコーディネーションや連絡が実際に試された。(プログレ紙12月23日付)

3. 在留邦人の被害事例

ローヌ=アルプ地方における被害報告は特になし。(在リヨン領事館ソース)

4.リヨン、ローヌアルプ地方今月の出来事

① フェット・デ・リュミエール(光の祭典)が開催される。

例年通り、12月5日から8日にかけて光の祭典が開催された。年々より多くの観客を集めるこの祭典のために市中心部は車両進入禁止などの交通規制が敷かれた。リヨンは観客で大混乱したが、特記するような事件事故も無く、祭典は成功のうちに終了した。(プログレ紙12月9日付)

② 2件の連続殺人事件雪

12月19日、アン県とオート・サボワ県で1時間ほどの間に2件の連続殺人事件が起こった。同日9時15分ごろ、アン県のモレアル・クリューズ市の商店で時間になっても開店しないのを不審に思って店に入った客が40歳の店主女性が殺されているのを発見。その後70キロほど離れたオート・サボワ県の不動産会社で同様の手口で従業員の女性が殺されているのを出勤してきた同僚が発見。捜査が続いているが、憲兵隊では犯行手口が類似していること、地理的に犯行現場が近いことなどから同一人物の犯行と見ている。普段は静かなこれらの町の住民らは、突然起こった殺人事件にショックを受けている。(プログレ紙12月20日付)

③ アン県で強盗未遂の犯人が銃撃戦の末射殺される

12月5日、強盗未遂の犯人が銃撃戦の末に射殺されるという事件が起こった。アン県ブルク・エン・ブレス市付近で午後1時30分ごろパトロールをしていた私服警官らが以前強盗事件に使用された車のナンバープレートと同一のナンバーの車を発見。乗っていた男らを尋問しようと近づいたところ、車は猛スピードで逃走した。乗っていた二人組の男らは覆面を取り出し、追跡するパトロールの車に対して発砲。逃走中に追突事故を起こしたものの、走行中の他の乗用車のドライバーを脅して車を奪い逃走を続けた。捕まりそうになった際に憲兵隊の車に追突、発砲を続けたが銃撃戦の末一人が射殺された。共犯は徒歩で行方をくらましたが、夜遅くに近くの路上で逮捕された。(プログレ紙12月6日付)

④ 降雪により交通混乱

12月中旬、ローヌ=アルプ地方は雪に見舞われ道路交通が混乱した。イゼール県などでは除雪が間に合わず高速道路が閉鎖されるなどした。(プログレ紙12月10、15日付)

また、早朝深夜は氷点下の気温が続くため、雨氷により道路が滑りやすくなっていることも多い。

⑤ **政府の改革案に反対する高校生のデモ。**

12月16日から数日間にわたって、ダルコス教育相に代表される政府の教育改革案に反対する高校生らが全国的にデモを行った。リヨンでも特に18日に大規模なデモ行進が行われ、終了間際に暴動も見られ、駐車中の車や学校施設が放火されたりするなどした。(プログレ紙12月18,19日付)

5.その他の情報

① **洪水被害の市町村が自然災害地域指定される。**

ローヌ県において発生した7月26日の洪水に関してジュネ、サン=ロラン・ドゥ・ミュール市が、および11月始めの洪水と泥流に関してアリックス、アンペリユー市をはじめとする45もの市町村が事前災害地域指定された。この自然災害地域指定がないと払い戻しをしない保険会社もあるために非常に重要な指定であり、被害にあった住民らは払い戻し申請を保険会社に提出することになった。(プログレ紙12月11日付)

② **感染性胃腸炎(gastro-entérite)およびインフルエンザがローヌ=アルプ地方で流行**

12月末からローヌ、イゼール、ロワール県を中心に感染性胃腸炎がローヌ=アルプ地方で大流行している。お年寄りや乳幼児がこの病気にかかると、ひどい場合には死に至ることもあるので注意が必要である。感染性の高いこの病気は、頻繁に手洗いをするのが一番の予防策とされている。またインフルエンザも流行の兆しを見せている。(プログレ紙12月31日付)